

平成22年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成22年8月5日

上場会社名 ホウライ株式会社 上場取引所 JQ
 コード番号 9679 URL http://www.horai-kk.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西山 茂
 兼社長執行役員
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 千葉 正裕 (TEL) 03(3546)2921
 四半期報告書提出予定日 平成22年8月5日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有・無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有・無

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年9月期第3四半期の業績（平成21年10月1日～平成22年6月30日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年9月期第3四半期	3,886	△5.0	205	32.2	473	△17.3	302	△10.6
21年9月期第3四半期	4,090	—	155	—	572	—	338	—

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
22年9月期第3四半期	21	61	—	—
21年9月期第3四半期	24	16	—	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円	銭	
22年9月期第3四半期	24,063		6,788		28.2	485	25	
21年9月期	24,685		6,566		26.6	469	29	

(参考) 自己資本 22年9月期第3四半期 6,788百万円 21年9月期 6,566百万円

2. 配当の状況

	年間配当金							
	第1四半期末		第2四半期末		第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭
21年9月期	—	—	0	00	—	—	5	00
22年9月期	—	—	0	00	—	—		
22年9月期(予想)							5	00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 有・無

3. 平成22年9月期の業績予想（平成21年10月1日～平成22年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	5,900	0.8	460	0.2	900	0.7	560	4.0	40	02

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 有・無

4. その他（詳細は、[添付資料] P. 2「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有・無

(注) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有・無

② ①以外の変更 : 有・無

(注) 「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

22年9月期 3 Q	14,040,000株	21年9月期	14,040,000株
22年9月期 3 Q	49,827株	21年9月期	47,735株
22年9月期 3 Q	13,991,376株	21年9月期 3 Q	13,993,738株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）2ページ「1. 当四半期の業績等に関する定性的情報（3）業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	2
2. その他の情報	2
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	2
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	2
3. 四半期財務諸表	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 継続企業の前提に関する注記	7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間のわが国経済は、企業収益が大幅に減少し、設備投資や個人消費が低迷しました。後半やや改善が見られたものの、全体として国内景気は厳しい状況が続きました。

このような状況下、当社は期初から新中期計画を掲げて事業戦略の明確化とローコストオペレーションの推進に取り組みましたが、当第3四半期累計期間は前半の天候不順やインフルエンザの影響と、期中全般に亘る消費マインドの低迷により、観光・ゴルフ事業では来場者数が減少し営業収益が前年を下回りました。一部空室の出た不動産事業や乳業事業も減収になりましたが、保険事業はコンサルティング営業の強化により前年比増収となりました。

この結果、当第3四半期累計期間の経営成績は、営業収益が全体で3,886百万円（前年同四半期比204百万円減）となりました。一方営業原価は、全部門でのコスト削減と不動産事業の大型修繕工事の減少を主因に、3,283百万円（前年同四半期比209百万円減）となり、一般管理費も削減した結果、営業利益は205百万円（前年同四半期比50百万円増）となりました。

一方、マーケットからのゴルフ会員権買取りに伴う消却益が前年比大幅に減少し、経常利益は473百万円（前年同四半期比99百万円減）、四半期純利益は302百万円（前年同四半期比35百万円減）となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

当第3四半期会計期間末における総資産は、現金及び預金の減少と減価償却の進行を主因に、前事業年度末に比べ621百万円減少しました。

負債は、ゴルフ会員権の買取り消却、預り保証金の返還及び未払法人税等の減少を主因に、前事業年度末に比較して844百万円減少しました。

純資産は、四半期純利益の計上により前事業年度末に比較して222百万円増加し、自己資本比率は前事業年度末に比較して1.6ポイント改善し、28.2%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期会計期間末における現金及び現金同等物の残高は2,118百万円となり、前事業年度末に比較して203百万円減少しました。

当第3四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

「営業活動によるキャッシュ・フロー」は、四半期純利益の計上を主因に法人税等の支払い後259百万円の収入（前年同四半期比206百万円の収入増）となりました。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は、有形固定資産の取得及び投資有価証券の取得資金決済を主因に288百万円の支出（前年同四半期比167百万円の支出増）となりました。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は、社債の定時償還、配当金の支払及び入会預り保証金の一部返還を主因に174百万円の支出（前年同四半期比502百万円の支出減）となりました。

(3) 業績予想に関する定性的情報

当第3四半期累計期間の業績は、営業収益は若干計画を下回ったものの、営業利益は計画を上回りました。7-9月は観光・レジャーのトップシーズンで、当社の年間業績に占めるこの期間の業績の比重が高いため、現時点で平成21年11月13日に「平成21年9月期決算短信（非連結）」で公表いたしました平成22年9月期の通期の業績予想は変更いたしません。

2. その他の情報

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

①一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第3四半期会計期間末の貸倒実績率等が前事業年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前事業年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算出しております。

②法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前事業年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生に著しい変化がないと認められるため、前事業年度末において使用した将来の業績予測やタックスプランニングを利用する方法によっております。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成22年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,726,941	3,125,964
受取手形及び売掛金	293,179	342,435
商品及び製品	110,061	115,199
仕掛品	28,558	10,178
原材料及び貯蔵品	73,305	62,042
その他	93,187	107,448
貸倒引当金	△128	△221
流動資産合計	3,325,104	3,763,047
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	4,056,448	4,119,991
土地	7,056,555	7,056,555
コース勘定	4,834,505	4,834,505
その他(純額)	1,240,938	1,227,101
有形固定資産合計	17,188,447	17,238,153
無形固定資産	135,332	227,568
投資その他の資産		
保険積立金	2,468,301	2,459,837
その他	969,498	1,019,987
貸倒引当金	△23,000	△23,000
投資その他の資産合計	3,414,799	3,456,825
固定資産合計	20,738,579	20,922,548
資産合計	24,063,684	24,685,596
負債の部		
流動負債		
買掛金	80,876	101,166
1年内償還予定の社債	100,000	100,000
未払法人税等	10,736	144,311
引当金	9,170	39,526
その他	567,578	741,412
流動負債合計	768,363	1,126,416
固定負債		
社債	1,800,000	1,850,000
長期預り保証金	14,588,531	15,046,797
引当金	116,760	95,980
その他	1,268	—
固定負債合計	16,506,559	16,992,777
負債合計	17,274,923	18,119,193

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成22年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,340,550	4,340,550
資本剰余金	527,052	527,052
利益剰余金	1,913,385	1,681,017
自己株式	△12,952	△12,528
株主資本合計	6,768,035	6,536,091
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	20,725	30,310
評価・換算差額等合計	20,725	30,310
純資産合計	6,788,761	6,566,402
負債純資産合計	24,063,684	24,685,596

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成20年10月1日 至平成21年6月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成21年10月1日 至平成22年6月30日)
営業収益	4,090,683	3,886,130
営業原価	3,493,406	3,283,826
営業総利益	597,277	602,303
一般管理費	441,581	396,427
営業利益	155,696	205,875
営業外収益		
受取利息	3,426	1,457
受取配当金	6,531	7,998
会員権消却益	406,476	288,569
その他	43,469	12,517
営業外収益合計	459,903	310,542
営業外費用		
支払利息	20,160	19,425
支払保証料	9,221	8,767
その他	13,536	14,746
営業外費用合計	42,918	42,939
経常利益	572,681	473,479
特別利益		
投資有価証券売却益	3,672	—
特別利益合計	3,672	—
特別損失		
固定資産除売却損	1,776	2,544
投資有価証券売却損	28,704	—
投資有価証券評価損	20,281	—
特別損失合計	50,762	2,544
税引前四半期純利益	525,591	470,934
法人税、住民税及び事業税	155,773	154,174
法人税等調整額	31,740	14,430
法人税等合計	187,513	168,604
四半期純利益	338,077	302,329

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成20年10月1日 至 平成21年6月30日)	当第3四半期累計期間 (自 平成21年10月1日 至 平成22年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	525,591	470,934
減価償却費	279,469	270,787
のれん償却額	88,326	80,988
貸倒引当金の増減額(△は減少)	114	8
賞与引当金の増減額(△は減少)	△29,561	△30,355
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	19,450	20,780
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△2,810	—
受取利息及び受取配当金	△9,958	△9,456
会員権消却益	△406,476	△288,569
社債利息	20,160	19,425
有形固定資産除売却損益(△は益)	1,776	2,544
投資有価証券売却損益(△は益)	25,032	—
投資有価証券評価損益(△は益)	20,281	—
売上債権の増減額(△は増加)	△43,376	49,153
たな卸資産の増減額(△は増加)	△16,499	△24,503
仕入債務の増減額(△は減少)	△5,036	△20,289
その他	△45,972	3,466
小計	420,512	544,914
利息及び配当金の受取額	9,649	7,379
利息の支払額	△13,530	△13,040
法人税等の支払額	△364,562	△280,234
営業活動によるキャッシュ・フロー	52,070	259,019
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,000,000	△1,000,000
定期預金の払戻による収入	1,000,000	1,000,000
有形固定資産の取得による支出	△200,840	△227,290
有形固定資産の売却による収入	18,652	12,645
無形固定資産の取得による支出	△12,945	—
投資有価証券の取得による支出	△4,509	△64,436
投資有価証券の売却による収入	69,034	—
その他	9,376	△9,658
投資活動によるキャッシュ・フロー	△121,231	△288,739
財務活動によるキャッシュ・フロー		
社債の償還による支出	△50,000	△50,000
長期預り保証金の返還による支出	△556,523	△54,230
配当金の支払額	△69,172	△69,463
その他	△545	△424
財務活動によるキャッシュ・フロー	△676,241	△174,118
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△745,403	△203,837
現金及び現金同等物の期首残高	2,842,535	2,322,827
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,097,132	2,118,989

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。